

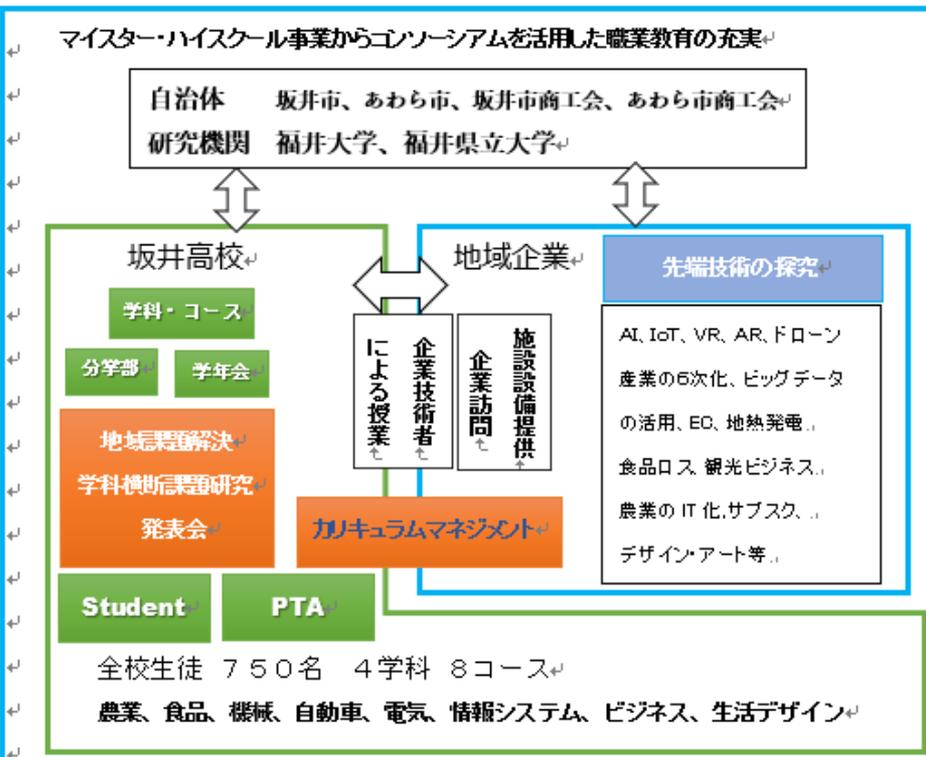
学科横断型DX研究による次世代産業人育成体制の構築 坂井高等学校 次世代地域産業人材育成刷新事業

2040年 産業の将来構想 企業が価値づくり産業へ進化し、AI・ロボット等の未来技術を活用できる人材育成の先進地を形成する(福井県長期ビジョン)

テーマ(目標)

地域の課題と地元企業の価値を理解し、 持続可能な次世代の地域産業を担う人材の育成

Consortium 構想



Consortiumの理念と活動

職業教育を学校と企業が協働して担う
自治体がそれをサポートする
新たな体制づくり

<運営メンバー>

賛同頂ける企業集団
自治体
教育機関
学校(教員・生徒・PTA)

<目指すところ>

福井の産業に関心をもった
仕事への意欲の高い
考える力を持った生徒の育成
・職業人としての資質の向上
・地元企業への愛着の醸成
・地域に貢献することによる
⇒Well-beingの達成

<活動内容>

- ・「ふくい産業」の授業を学校と企業で創る
- ・賛同企業を中心にした企業への訪問研修
- ・企業からの講師派遣による出前授業
- ・企業と協働での課題研究の取り組み
- ・企業からの課題提起(実社会への貢献)
- ・新たなカリキュラムの開発

産業界との連携を強化した総合産業高校の新しい魅力の創造

学科横断型DX研究による次世代産業人育成体制の構築

坂井高等学校 次世代地域産業人材育成刷新事業

生徒活動概念図

本校の取組は右の大木をイメージし、持続可能な今後の総合産業高校の在り方として、この事業を活用していく

葉の部分

- ・各コースの専門的企画研究
- ・コース横断型研究(葉が重複)

〈絶滅危惧種＝エチゼンダイモンジソウ、アゼオトギリ〉〈食品ロスの低減と安心安全な食、HACCP導入〉〈機械コースの学び＝焼印〉〈ドローンとDIPS申請〉〈地熱エネルギー＝温泉熱の活用〉〈システム開発＝スマート農業〉〈ふるさと納税の返礼旅〉〈Sea級グルメ〉〈ファッションショー〉

幹の部分

- ・全校生徒が取り組む研修
- ・3年次の課題研究に向けて地域の産業全般について探究

〈地域企業研修〉〈産業実務家教員の授業〉〈グローバル研修〉〈3年次の課題研究〉等

根の部分

- ・8コースの統一した「学びの姿勢」を構築する改革
- ・広報、評価部門は事業の土台

根幹思想

- 地域に愛され、貢献できる高校
- 生徒の well-being に繋げる



葉の部分は、令和4年度継続中のものを掲載。令和5年度も継続されるものが多い。新規を考案中もある。

★3年次の課題研究★

広報 「学びの姿勢」坂井高校スタンダード 評価

地域に開かれた教育活動・部活動

学科横断型DX研究による次世代産業人育成体制の構築 **坂井高等学校 次世代地域産業人材育成刷新事業**

根底となる資質の育成

行動ベースで設定。
キャッチーなタイトルにする。

「学校生活の手引き」や「学校要覧」、坂井高校ホームページ等に記載し、求心力のあるものにする。

「自主・協働・創造」の校訓を踏まえることで、本校教育の目的の実現をアシストし、今後も持続可能なものとする。

「学びに向かう指標」坂井高校スタンダード ~7つの矜持~

作成日： 2022/12/12

	自主 (人間力向上のために)			協働 (社会の一員となるために)			創造 (豊かに生きるために)	
	学ぼうとする力	貢献する力	礼節の力		助け合う力	とものつくる力	基礎学力	必要な技術・技能
	授業	清掃	挨拶		グループ活動	特活・行事	GTZ	資格・検定
A	自主的にできている その日に学習することをあらかじめ知り、考えながら授業に参加することができる。	自分で考えて掃除を自分が進められ、担当箇所を美しくできる。	誰に対しても、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	周囲のことも意識してできている	どんなグループにおいても協力し合うことができ、意見を出し合いながら課題の解決を図ろうとする。	主体的に活動に関わり、仲間とともに最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テスト A1~B3以上	コースで標準とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができた。
坂井高校生としての目標を十分達成しており、さらなる広がりが見られる (応用)								
B	与えられたことではできている 授業に参加して、与えられた課題について考えることができる。	決められたことは取り組むことができる。	誰に対しても、適切な言葉で挨拶を返すことができる。	与えられたことではできている	ある程度の人は協力し合うことができ、課題の解決を図ろうとする。	仲間とともに、最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テスト C1+~C3以上	コースで標準とされているものを取得できた。
学力の3要素中の「主体性=自己調整能力」を意識させる。		生徒の中では、奉仕する心の重要度が低い。		対人関係構築力を重要視する生徒が非常に多い。			「OneWeekトライアル」をすれば、C3は到達可能なライン。	
坂井高校生として卒業までに最低限身に着けたい力が身についている (標準)								
C	やる気はあるができていないこともある 授業に参加して、言われたことだけができる。	教員が見ているときだけ、取り組むことができる。	場面によっては、挨拶をすることができる。	やる気はあるができていないこともある	他者どうまく協力することはできないが、自分の役割は果たすことができる。	その場には参加しており、言われたことだけを実行する。	基礎力診断テスト D2~D1+	コースで勧められたものに合格もしたが、不合格の方が多かった。
坂井高校生としての目標をあと少しで達成できそうである (基礎)								
D	やらないことが当たり前になっている 何も取り組まなかったり、私語をしたりして、学びのさまざまなことになる。	注意されることが多く、やらないことが当たり前になっている。	挨拶をされても、返さない。無視することがある。不適切な言葉を使う。	やらないことが当たり前になっている	話し合いに関心が持たず、協力せずに結論が出るのを待つ。関係のない話をする。	その場には参加していても、活動や作業には参加しない。寝ていたり私語をしたりして時間を潰す。	基礎力診断テスト D3~D3+	受験を放棄したり、受験したものに、ほとんど合格することができなかったりした。
坂井高校生としての目標を達成するにはさらなる努力が必要である (要努力)								